

平成28年5月18日(水)公演(26回目)

介護老人保健施設「はなぶさ苑」 :熊谷市玉井

以前からお願いしていた高齢者施設「はなぶさ苑」から、2週間前に突然の申込みを受け急遽公演が決まりました。

心配していた前日の雨模様がすっかり晴れ、28年度4月から4回目の公演です。前々から地域交流センターには26、27年度に出演の依頼が送られて来て2度とも参加してきました。今回の依頼は同じ施設でも別の担当部署からの意義のある依頼で、正装で公演を行おうと全員一致で決め張り切って臨みました。

午後1時に駐車場に集合し、何時もと違い介護老人保健施設「はなぶさ」の方々が対象でした。ここの皆さんは在宅復帰を目指すリハビリ目的とする方々で、約半数は普通椅子で座られていました。正装も回数を重ね、帯の締め方も袴の着付けも大分慣れ、短時間で着付けができるようになりました。

施設は非常に大きく、会場となる食事をするフロアには約60名程の多くの方が待っていてくれ、会場に入る我々を迎えてくれました。

施設からの紹介のあと公演が始まりました。先ず舂田さんの「南京玉すだれ」の口上から、皆さんの大きな手拍子と共に我々の演技も進みました。

自己紹介の後、各人の演技による「何に見えますか」という問いに会場から元気な答えが返ってきました。その後「玉すだれ」を実際に手に取ってもらい、大きな円形の輪の両端を握る姿を、職員の方が写真におさめました。健康体操を行う頃にはすっかり打ち解けて、楽しそうに体を動かし、会場一杯盛り上がりました。

最後の演技が終わり、職員の方の挨拶を受け、帰り際に手を握り別れを惜しみました。「目で見て楽しめる訪問は少なく、また連絡させて下さい。」という嬉しい言葉を戴き、再会を約束し施設を後にしました。



